

2013年12月3日

株式会社アットマーク・ラーニング

**発達障害を抱える生徒も学習できる“日本初”の高等学校
SNEC(スペシャルニーズ・エデュケーションセンター)所属生の募集を開始
-開校1周年、来年度の定員は40名-**

川崎特区 明蓬館(めいほうかん)高等学校(東京都品川区、校長:日野公三)は、特別支援教育施設、SNEC(スペシャルニーズ・エデュケーションセンター)の来年度生徒募集を開始いたしました。

SNEC は日本で初めて、高等教育課程で発達障害生徒を「専門で」受け入れる施設として2013年4月に開校し、来年度で1周年を迎えます。日本国内の発達障害を抱える生徒の数は、小・中学校の生徒のうち6.5%(※文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査について」より)といわれており、その数は増加傾向にあります。通級教室による指導など、小・中学校でようやく支援体制が整備されつつある一方、高等学校では、ほとんど発達障害生徒に対するケアがなされていないのが現状です。SNEC では、中学卒業後に学習継続を望む発達障害生徒に対して、専門の相談員や支援員、またスクールカウンセラーを多く揃えて教育環境を整備することで、発達障害生徒に寄り添った教育支援・カリキュラムを提供しております。

※募集概要は、[下記 URL または本リリース 2 ページ以降](#)をご参照下さい。

http://www.at-mhk.jp/file_view.php?id=140

校長挨拶

明蓬館高等学校を一言で表すとすれば、「安心して挑戦できる学校」です。対極にあるのが、「不安で、心配で挑戦できない学校」です。学習時間、学習場所の自由度は全日制高校に比べると高いのはもちろんのことですが、ほかにも教材選択肢、テストに代替する学習成果物の選択肢の広さは、ほかの高校の比ではありません。今の時代を「先行きに希望が持てない時代・社会」と言う人もいますが、私たちはそうは考えません。希望は向こう岸からやってくるものではなく、私たち一人ひとりが内面から成熟させていくものではないでしょうか。日々、挑戦する事を持ち、相談できる仲間や先生がいて、達成感を感じとり、今日よりは明日、明日よりは明後日というように、安心して挑戦できるジブンに変えていけることが理想です。

“やらされ感”をできるだけ少なくするために、当校では生徒自身がジブンで選択肢を描き、自己決定できるように接していきます。つまり自己決定を支え、助けるのが高等学校の役割と考えています。「安心して挑戦」でき、「ジブンで自己決定」できる学校が明蓬館高等学校なのです。皆さんと出逢える日を、楽しみにしています。



校長 日野公三



未来のジフンが好きになれる学校



内閣府認定特区高等学校 [全国広域通信制]

明蓬館高等学校

Meihokan High School

品川・御殿山
SNEC
スペシャルニーズ
エデュケーションセンター



SNEC 募集概要

・相談室登校生(ネットコーチングコース)

・特別支援学級・通級指導学級生(スクールコーチングコース)

平成26年度新入生(定員40名)

➤ 募集学科と人員

・広域通信制課程 日米単位制 普通科(共学)

・募集定員 40名(品川・御殿山 SNEC(スペシャルニーズ・エデュケーションセンター)所属)

・内訳 20名 Cコース:相談室登校生(ネットコーチングコース)

20名 Dコース:特別支援学級・通級指導学級生(スクールコーチングコース)

※定員が埋まり次第、今年度の募集は締め切らせていただきます

➤ 出願資格・条件

・平成26年3月に中学校卒業見込みの者

・すでに中学校を卒業し、現在高校に未入学の者で、4月新入学を希望する者

※帰国子女の方など、特別なケースの場合はお問合せください

➤ 出願期間

1次募集 平成25年12月2日(月)～平成26年1月24日(金)

2次募集 平成26年2月3日(月)～平成26年2月28日(金)

3次募集 平成26年3月3日(月)～平成26年4月25日(金)

＜本件に関するお問い合わせ＞

■明蓬館高校 入学相談室(株式会社アットマーク・ラーニング内) 小田、新田

・TEL:0120-9587-19

・MAIL:info@at-mhk.jp